

資源リサイクル化に貢献する ウジエの次世代型 スーパー破砕機

お客様第一 品質第一 安全第一

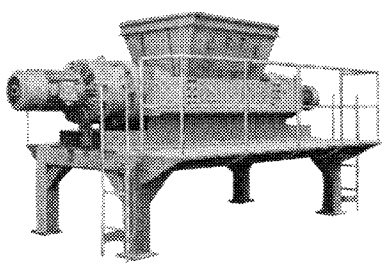
グッドカッター

低トルク!低騒音!一体型変則ネジレ刃!で強力剪断・破砕! ●埼玉県工業技術奨励賞
●全国中小企業融合化優秀製品賞

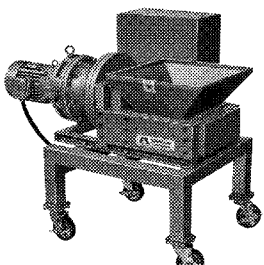
UGS、UGSSシリーズ

UGシリーズ

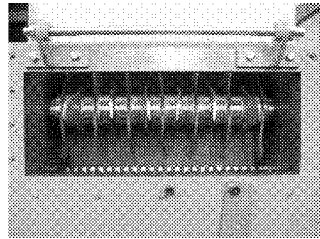
[タベタカッター]



大型・産業廃棄物の剪断・破砕に!



切粉等の剪断・破砕に!



野菜などの食品廃棄物の
剪断・破砕に!

- 難破砕材の剪断・破砕に挑戦します。
- 切れ味・破砕力・耐久性・保守性・軽量化・操作性・安全性で末永く貢献いたします。
- 大・中・小型機。自動車搭載型と豊富な品ぞろえをいたしました。
- アフターサービスを充実。即応体制を整えました。
- テスト破砕はいつでもご用命ください。

[用途]

- 工作機械切削切粉の剪断・破砕に!
- 廃棄プラスチック・可燃ゴミ固形燃料化前工程の剪断・破砕に!
- 剪定枝・落ち葉・雑草・魚類・野菜屑等、バイオコンポスト前工程の剪断・破砕に!
- シュレッダーダストの減容・破砕に!
- アルミ、鋼鉄、プラスチック、空き缶、電線、電話機、自動車タイヤ内装材、バンパー、FRP、ガラス、木材、電話帳、生ゴミ、タタミなど破砕に!

彩の国工場 指定

株式会社 氏家製作所

〒330-0856 さいたま市大宮区三橋1丁目592番地
TEL.048-663-1081代表 FAX.048-652-1854



URL

http://www.ujiie-ss.co.jp



ISO14001 認証取得

ISO9001 認証取得

サーマルリサイクル、マテリアルリサイクルを推進します!!

オールマイティにサポートする

(株)リサイクル・リサイクルセンター(株)・(株)ダイテック・唐澤化学工業(株)

[リサイクルグループの業務内容]

1. 特別管理・産業廃棄物収集運搬業務
2. 産業廃棄物の再生処理業務(廃油・溶剤の再生、販売)
3. 処理再生プラントの製作・販売(洗浄機・回収装置の製造、販売、据付工事)
4. その他工業薬品製造・販売・輸出事業



深刻な資源問題 技術力で挽回

日本は輸入した資源を用いて、画期的な製品を生み出し、消費、そして輸出している。こうした中、資源問題は深刻化の一途をたどる。資源は枯渇危機に陥る。価格高騰の要素をばらばらとあり、それは経営リスクとして突然降りかかってくる。資源の有効活用は環境の観点に加え、日本経済の未来にも関わってくる問題である。資源に乏しい日本が、持ち前の技術力で、この圧倒的に不利な状況を挽回しようとしている。そこで「都市資源田」「都市鉱山」といった有望な資源を回収・有効利用する「都市資源開発」が注目されている。

リサイクル、着実に進展

廃プラスチック

有効利用量でみると、全体の有効利用量が下がったことに連動して、サマールリサイクルが前年比6.4%減、マテリアルリサイクルが同6.5%減と減少に転じた。一方ケミカルリサイクルは同28%増、高炉・コークス炉原料化やガス化における利用が伸びたことで、数字が押し上げられた。

年間約1000万トンが排出される廃プラスチック。身なりのリサイクル材であるプラスチックの現状に悩んでおこう。プラスチック処理促進協会がまとめた調査によると、2009年の廃プラスチックの有効利用率は前年比3.3%増の79%で、過去最高を更新した。リサイクルの進展に加え、リサイクルで済まずに埋め立て処理される量が同27.9%減の88万トンで、100万トン以下を達成。リサイクルが着実に進んでいる現状が鮮明になった。

有効利用量は前年比5.3%減の71.8万トン。景気後退の影響を反映して、廃プラスチックの総排出量が同8.6%減の91.7万トンとなった。

プラスチックは生活になじみ深い材料で、以前から有効利用が進められてきた。一方生活に身近でありながら触れる機会がなく認知度が低かったレアアースが、ここに来て重要な資源としてクロースアップされているものがある。それが希少金属(レアメタル)の一種である希土類元素レアアースだ。レアアースは金属に混ぜて使うことで、磁気力アップ、耐熱性向上などの機能を発揮する。ハイブリッド車の駆動用モーターや、パソコンなどのハードディスク駆動装置(HDD)、家電・IT機器の高性能モーターといった製品の性能を支える重要な材料になっている。

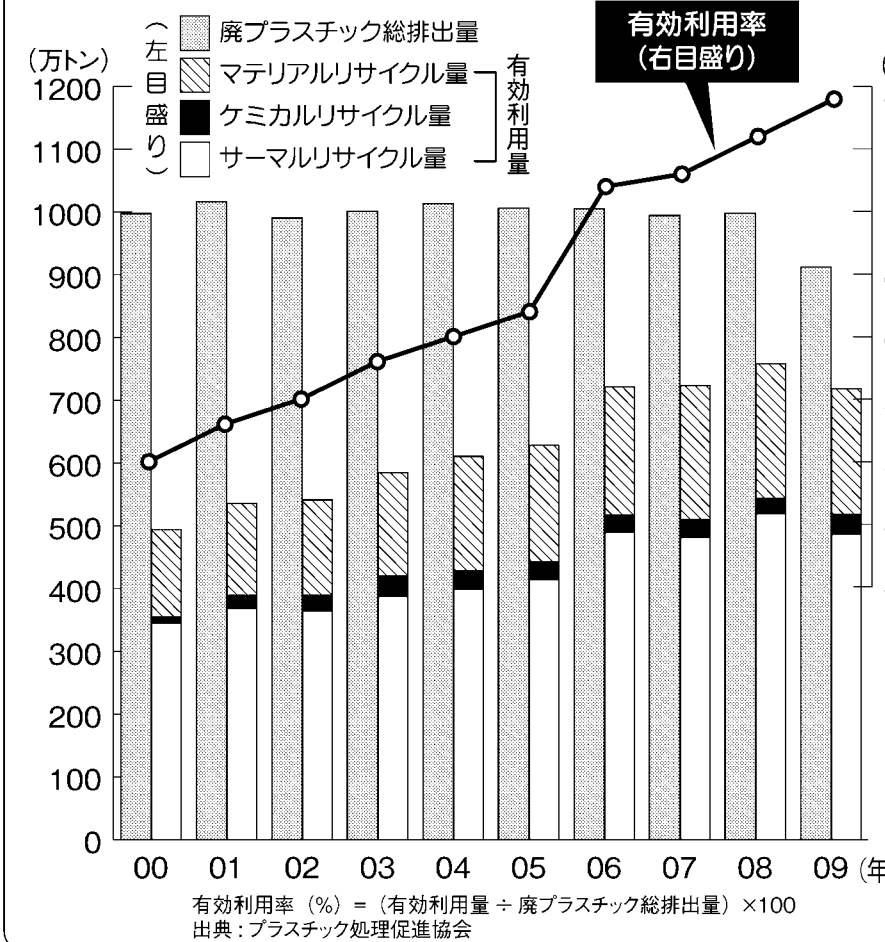
このレアアースの生産量の約97%が中国。一国だけのシェアを握るレアアースの生産は、分離・回収方法は開発されてきたが、資源問題の深刻化により、資源調査団はあまりにも高いリスクを背負うことになる。しかも、自動車や家電などの国内経済を担う産業で不可欠な材料であり、この資源問題をいかに克服していくかが、重要なテーマとなっている。日本の英知が、この現状に立ち向かっている。

日立製作所はレアアース磁石をHDDなどからリサイクルする技術を開発した。使用済み製品からレアアース磁石を分離・回収する装置を開発し、磁石からレアアースの抽出に成功。コストや回収率を検証した上で、13年をめどにリサイクルの本格稼働を目指している。

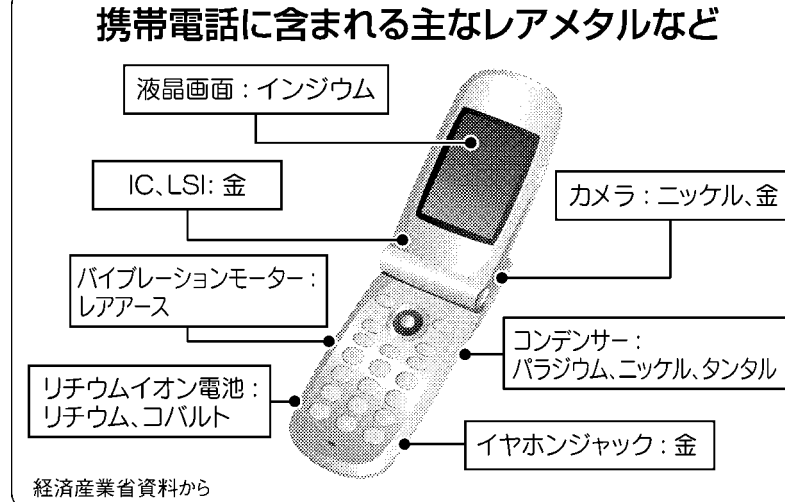
日立のHDDからレアアース磁石を分離・回収するための選別コンベヤー。どの環境対策が絶対だったか、レアアースと親和性の高い特定の抽出媒体を用いて環境負荷の低い抽出を行う。今後は研究を通じて精度を高めていく。

三菱マテリアルは使用済み家電製品からレアアース磁石を回収・再資源化する技術開発を実施。経済産業省、新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)のアシストを受け、研究を進めている。同社が進めているのが、家電のモーターを分解し、レアアース磁石を効果的に回収するプロセスの技術開発。分解の自動化による低コストなリサイクルプロセスの確立を目指している。

廃プラスチックの総排出量・有効利用量・有効利用率の推移



都市資源開発／廃プラ、レアメタル、下水



肥料原料 下水処理設備 からリン回収

世界的な食糧増産を求めて、肥料原料の需要は、燃料化できる最先端プラントの開発を計画している。

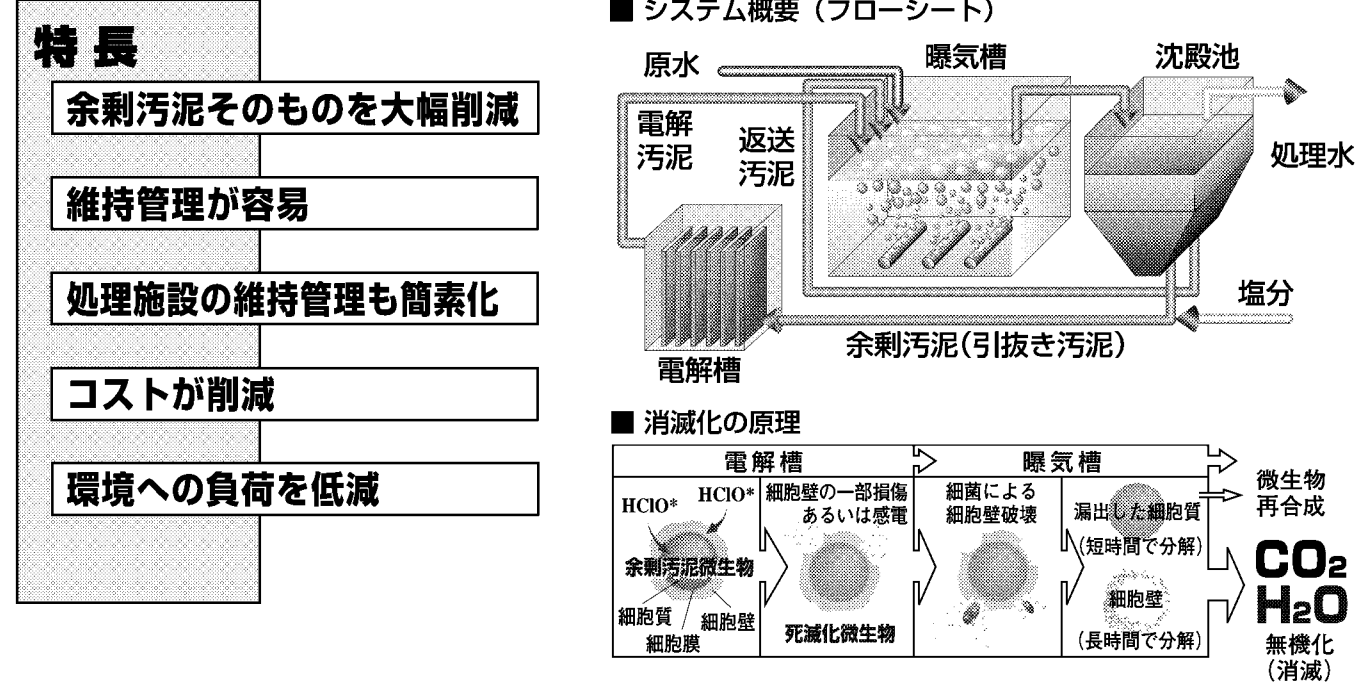
年々高まっている。資源国は肥料原料を戦略物資と位置付けて輸出を抑制する傾向が顕著だ。そうした中、リン鉱石などの輸入減少に備えて、下水処理設備からリン回収する技術開発が進んでいる。下水汚泥の焼却灰からリン回収を始めた自治体も登場している。国土交通省は下水処理設備で発生する汚泥のエネルギー化の効率を高めるため、今よりも高効率にリン回収できる最先端プラントの開発を計画している。

資源消費国から、資源高度利用国に向けての確かな歩を進めている。国は09年4月に、国の将来展望を描き、持続的な経済成長につなげる計画「未来開拓戦略」の中で、資源大国実現プランを発表。この中で、都市部で排出される廃家電を鉱脈に例え、貴金属やレアメタルなどを回収・再利用する都市鉱山、同様に、廃プラスチックの総資源化を念頭に置いた都市資源田のロードマップを示している。

スイー 電解式汚泥削減化システム

余剰汚泥を電解処理後、生物処理施設内で削減します。

スイー電解式汚泥削減化システムは、余剰汚泥そのものを処理施設内で削減する技術です。余剰汚泥基質化プロセス(電解槽)において、必然的に発生した余剰汚泥を死滅(殺傷)させたあと、これをばっ気槽に戻し、生物処理することによって汚泥を削減化します。



水道機工株式会社
http://www.suiki.co.jp

公共事業本部 事業管理部
〒156-0054 東京都世田谷区桜丘5-48-16
TEL.03(3426)2953

バイオマス系廃棄物 各種処理装置

各種特許出願中

一般可燃ごみ

異物(布団・衣類・金属等)

解砕機(異物排出機構付)
一般可燃ごみを解砕及び異物除去
一般可燃ごみを袋ごと解砕中に含まれる粗大発酵不適物(布団・衣類・金属・木屑・その他)の除去を行う。

振動スクリーン

排水・廃液中の混入物の除去装置
装置・設備排水からの混入物の除去。
発酵好適物の水切り。

ティアセバレーター

異物(布団・衣類・金属等)

発酵好適物
発酵不適物(硬質・軟質プラ・布・金属等)
発酵好適物
生ゴミスラリー

破袋選別機(ティアセバレーター)
袋詰めされた可燃ごみからバイオマス資源を回収
発酵好適物(厨芥類)と発酵不適物(プラスチック・布類等)を分別します。

スピンドライヤー
好適物から異物(プラ類・金属等)を除去分別
好適物内に混入したプラ類等を除去し好適物は、叩かれスラリー状になり分別します。

営業品目
RPF製造プラント、地方自治体及び産業廃棄物関連施設の
リサイクルプラント、ビン、缶リサイクルプラント

製造・発売元
株式会社 タジリ
優秀経営者顕彰地域社会貢献者賞受賞、
埼玉産業人クラブ西海記念賞受賞

〒369-1108 埼玉県深谷市田中357-1
TEL 048-583-3525(代) FAX 048-583-3527
URL http://www.tajiri.co.jp E-mail info@tajiri.co.jp